



創業初期の工場（長野市篠ノ井）



創業者 丸山盛永

# 70年の歴史と その先の未来へ



創業初期の工場内部（長野市篠ノ井）

## 第 63 期 報告書

2018年3月21日から2019年3月20日まで



エムケー精工株式会社



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。ここに、当社の第63期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、海外では米中貿易摩擦の問題や世界的な経済減速への懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと当社グループは、モノづくりとサービスを通じた顧客価値の追求を目指して、顧客視点に立った商品開発とサービス品質の向上に取り組んでまいりました。また、当社グループの既存事業の深耕をはかる一方で、M&A等を通じて隣接分野への事業拡大をはかってまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は233億9千6百万円（前期比14.2%増）、経常利益は11億7千万円（前期比35.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億6千3百万円（前期比59.9%増）となりました。

当社は、昨年、創立70周年を迎えました。これを機に、第二創業としての強い攻めの気持ちをもって、刷新した企業理念と中期経営計画のもとに、M&A、設備投資、労働環境改善等の施策を打ち出してきました。そして、当社グループは、更なる成長ステージへ向けて、以下の課題に取り組んでまいります。

#### 1. 顧客価値の追求

モノづくりとサービスを通じた顧客価値を追求し、当社グループのスローガン「その手があった！の一手先。」の姿を具現化する。

#### 2. “美・食・住”

社会的な課題を“美・食・住”の視点から探求し、その解決に向け、当社グループをあげて新しい事業、商品及びサービスをデザインする。

#### 3. ブランドの強化

社外向けコーポレートブランディング、グループ内のインナーブランディング及び採用ブランディングを通じて、魅力あるモノづくり集団としての当社グループの一層の認知をはかる。

#### 4. 経営インフラの強化

当社グループを支える人材、財務、IT、生産ラインといった経営インフラを、グループ全体の最適化を踏まえながら整備し強化する。

以上を課題として取り組んでまいりますので、株主の皆様には、何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

丸山将一

## オート機器事業

主力の門型洗車機は、カーディーラーの設備投資意欲に支えられ堅調に推移しましたが、SS（サービス・ステーション）では政府支援事業の対象外となった影響もあり伸び悩みました。オイル機器については、政府補助金制度もあり灯油配送ローリーが好調に推移し、レンタル会社向けの建機用洗浄機やエアコンガスクリーニング機が伸長しました。また、石油元売会社統合によるSSのリニューアル需要により、サービス部門においても売上増となりました。この結果、オート機器事業の売上高は、134億8千1百万円（前期比3.1%増）となりました。



ドライブスルー門型洗車機



一般店舗向け小型表示機とフルカラー表示機

## 情報機器事業

情報機器としては主にLED表示装置を製造・販売しています。一般店舗向け小型表示機は、需要が振るわず前期実績を若干下回る結果となり、大型フルカラー表示機は案件数が減少し低調でした。一方、SS向け価格看板及び道路工事用表示板は、顧客ニーズにマッチし好調に推移しました。官需分野においては、大規模物件の受注があり売上増に貢献しました。この結果、情報機器事業の売上高は、18億7千7百万円（前期比17.9%増）となりました。

## 生活機器事業

農家向け商材は、主力製品の低温貯蔵庫及び保冷米びつが伸び悩み、前期の売上げを下回りました。一方、一般家庭向け商材は、電子レンジ置き台の需要が振るわず低調に推移したものの、新発売の小型保冷米びつ及び黒にんにくメーカーが好調で、売上げに貢献しました。また、ワイヤステレビスピーカーなどの音響関連商品が売上げを伸ばし、新たに事業拡大をはかった攪拌機や食品加工機のビジネスも堅調に推移しました。この結果、生活機器事業の売上高は、55億5千万円（前期比48.3%増）となりました。



黒にんにくメーカー 小型保冷米びつ

## 業績の推移（連結）

区 分	第60期 2015年度	第61期 2016年度	第62期 2017年度	第63期 (当連結会計年度) 2018年度
売上高（千円）	20,459,964	20,558,807	20,480,896	23,396,500
経常利益（千円）	624,143	968,201	863,204	1,170,170
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	394,423	614,616	477,692	763,596
1株当たり当期純利益	27円20銭	42円38銭	32円94銭	52円66銭
総資産（千円）	19,388,919	19,744,096	20,856,924	24,979,933
純資産（千円）	9,721,844	10,456,040	10,770,256	11,297,610

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期 (2019年3月20日現在)	前期 (2018年3月20日現在)
(資産の部)			
流動資産		13,395,425	10,929,903
固定資産		11,584,508	9,927,020
有形固定資産		6,963,814	6,369,623
無形固定資産		2,073,053	976,941
投資その他の資産		2,547,639	2,580,455
資産合計		24,979,933	20,856,924
(負債の部)			
流動負債		9,139,457	7,899,374
固定負債		4,542,866	2,187,294
負債合計		13,682,323	10,086,668
(純資産の部)			
株主資本		10,837,106	10,189,518
資本金		3,373,552	3,373,552
資本剰余金		2,951,143	2,951,143
利益剰余金		5,022,867	4,375,279
自己株式		△510,457	△510,457
その他の包括利益累計額		460,503	580,737
その他有価証券評価差額金		317,216	413,676
繰延ヘッジ損益		4,378	△13,229
為替換算調整勘定		20,380	52,788
退職給付に係る調整累計額		118,528	127,502
純資産合計		11,297,610	10,770,256
負債純資産合計		24,979,933	20,856,924

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期 2018年3月21日から 2019年3月20日まで	前期 2017年3月21日から 2018年3月20日まで
売上高		23,396,500	20,480,896
売上原価		15,775,255	13,622,244
売上総利益		7,621,245	6,858,652
販売費及び一般管理費		6,542,143	6,010,411
営業利益		1,079,101	848,241
営業外収益		192,043	112,798
営業外費用		100,974	97,834
経常利益		1,170,170	863,204
特別利益		201,673	56
特別損失		37,847	3,956
税金等調整前当期純利益		1,333,996	859,304
法人税、住民税及び事業税		549,729	334,454
法人税等調整額		20,669	47,156
親会社株主に帰属する当期純利益		763,596	477,692

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期 2018年3月21日から 2019年3月20日まで	前期 2017年3月21日から 2018年3月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,115,577	498,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,380,574	△417,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,287,027	△316,305
現金及び現金同等物に係る換算差額		△2,012	△5,143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		1,020,018	△240,816
現金及び現金同等物の期首残高		354,399	595,216
現金及び現金同等物の期末残高		1,374,418	354,399

## 連結株主資本等変動計算書

当期 (2018年3月21日から2019年3月20日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当連結会計年度期首残高	3,373,552	2,951,143	4,375,279	△510,457	10,189,518	413,676	△13,229	52,788	127,502	580,737	10,770,256
当連結会計年度変動額											
剰余金の配当			△116,009		△116,009						△116,009
親会社株主に帰属する当期純利益			763,596		763,596						763,596
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)						△96,459	17,608	△32,408	△8,973	△120,233	△120,233
当連結会計年度変動額合計	-	-	647,587	-	647,587	△96,459	17,608	△32,408	△8,973	△120,233	527,354
当連結会計年度末残高	3,373,552	2,951,143	5,022,867	△510,457	10,837,106	317,216	4,378	20,380	118,528	460,503	11,297,610

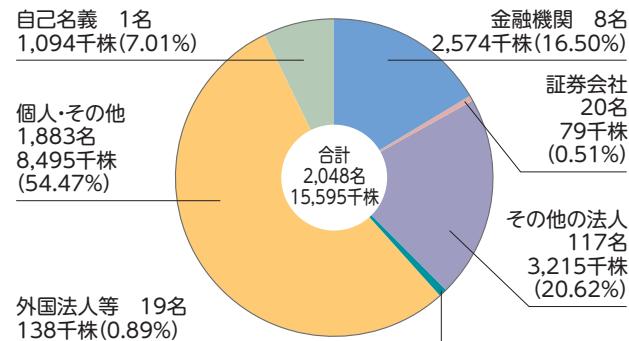
- 発行可能株式総数 .....54,930,000株
- 発行済株式総数 .....15,595,050株
- 株主数 .....2,048名

### ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
丸山永樹	1,312,100株	8.41%
東京中小企業投資育成株式会社	1,170,000	7.50
株式会社八十二銀行	721,000	4.62
株式会社みずほ銀行	721,000	4.62
大久保文夫	707,948	4.53
エムケー精工従業員持株会	590,332	3.78
三井住友海上火災保険株式会社	580,660	3.72
丸山繁夫	504,400	3.23
早川弘之助	454,800	2.91
近藤美知子	260,400	1.66

(注) 当社は、2019年3月20日現在、自己株式を1,093,905株保有しており、上記大株主から除外しております。

### ■所有者別分布状況



### ■会社概要

商号……エムケー精工株式会社  
(MK SEIKO CO., LTD.)

本社……長野県千曲市大字雨宮1825番地

東京本社……東京都葛飾区青戸8丁目3番5号

設立……1956年12月17日

事業内容……オート機器、情報機器、生活機器の製造販売

資本金……3,373,552,500円

主要な事業所……本社・工場 長野県千曲市  
東京本社 東京都葛飾区  
信濃町工場 長野県上水内郡信濃町  
支店 札幌・仙台・東京・東関東・北関東  
南関東・静岡・新潟・長野・名古屋  
金沢・大阪・四国・広島・福岡

従業員数……788名

### ■役員 (2019年3月20日現在)

代表取締役社長……丸山将一

取締役副社長……倉崎一由

常務取締役……小林文彦

常務取締役……早川和弘

取締役……可児敏雄

取締役……沓掛吉彦

取締役……和泉秀樹

取締役……上條由紀子※1

取締役……丸山永樹

常勤監査役……近藤重光

監査役……三浦伸昭※2

監査役……倉田浩二※2

監査役……廣中龍蔵※2

※1 取締役の上條由紀子氏は、社外取締役であります。

※2 監査役の三浦伸昭氏、倉田浩二氏及び廣中龍蔵氏は、社外監査役であります。

## 1. 創立70周年とその先の未来へ

おかげさまで当社は昨年7月1日に創立70周年を迎えました。同年11月1日には雨宮本社、信濃町工場、関係会社の従業員を集め、創立70周年記念集会を開催いたしました。集会の模様は全国の支店や営業所、さらには海外拠点までライブ配信し、グループ全体の結束を強めるイベントとなりました。集会冒頭に、社長から2022年のエムケー精工グループのあり姿を見据えた3年間の中期経営計画の発表があり、グループ一丸となって連結売上高250億円、営業利益率5%を目指すことを宣言しました。重点施策として、当社のIT基盤、生産ライン、そして人事評価制度のバージョンアップを進めてまいります。



また、当社の理念を新たに策定し、「MK Philosophy Book」という冊子にまとめ、グループ全従業員に配布しました。当社の新たな理念である、ミッション・ビジョン・バリュー・スピリットが収められたこのコミュニケーションツールで、エムケーらしい

社風の醸成、さらに従業員のモチベーションの向上をはかっていきます。令和時代の幕開けにインフラ整備と構造改革に取り組み、さらなる発展を目指してまいります。これからも常にお客様のニーズを察知し、今までにない、いざなり豊かなシーンを広げていきます。



## 2. 健康経営の推進

当社は、従業員とその家族の心身の健康が、経営計画を達成して社会的責務を果たすための源と考えています。健康で安心して生き生きと働くことができる職場を目指して健康を保持・増進する健康経営の強化に取り組んでいます。基本計画を策定し、健康保険組合・医療機関などとの連携を強めながら社長以下全ての役員・従業員がそれぞれの立場で各種施策を実施しています。実施事例としては、希望者への管理栄養士による食事指導、ウォーキングイベントへの参加勧誘、保健指導の強化を行っています。健康経営を推進することで、従業員の活力向上など組織の活性化をはかり、働き方改革にもつながる健康経営を目指しています。

### 3. 新製品のご紹介

当社は、2019年度より事業セグメントを変更いたしました。

従来の「オート機器事業」と「情報機器事業」については、統合することによりコスト競争力、商品開発力及び提案力の強化をはかり、モビリティ社会を支える事業とするため「モビリティ&サービス事業」に変更いたしました。また、「生活機器事業」については、調理家電から食品工場向けの食品加工機械まで事業拡張をはかるため「ライフ&サポート事業」に変更いたしました。

#### 【モビリティ&サービス事業】

##### ■ドライブスルー洗車機 アプリス70周年記念モデル

高度な安全性と洗浄力の両立をはかったアプリスに、最新かつ最高峰の技術を標準搭載した、「70周年記念モデル」を発売しました。このモデルは、センシング・洗浄・乾燥を組み合わせる最新技術を搭載しています。まさに節目を飾るに相応しいアニバーサリー洗車機になっています。



##### ■独立型泡洗浄&LED照明「ジェットフォーマー」

門型洗車機の上部に取り付ける独立型ジェット&泡洗浄システムです。前後左右に可動するノズルから高圧水と泡を噴霧します。さらに、前面に色鮮やかな高輝度LED照明パネルを搭載し、洗車満足度を高める迫力のあるショー効果を発揮します。



##### ■価格看板 SS-X123、SS-X713

従来の内照式とLED式のハイブリッド型価格看板を発売しました。上部のディスプレイ部と価格表示部にはLEDを搭載し、油種部には差し込み式の内照式プレートを搭載しました。上部のLEDディスプレイに表示されている内容と表示価格が連動して切り替わる機能を追加したことにより、複数の価格を切り替えて表示することが可能です。また上部に油種表示、油種部に精算種別を表示するなどフレキシブルな使い方が可能になり今までであるようでなかった、市場ニーズに応えた商品です。

#### 【ライフ&サポート事業】

##### ■「黒にんにくメーカー」

家庭で手軽に黒にんにくが作れる「黒にんにくメーカー」を発売しました。付属の専用トレイににんにくをセットして開始キーを押せば、12日後にはほどよい弾力としっとりした甘酸っぱいドライフルーツのような食感のおいしい黒にんにくが味わえます。Mサイズのにんにくを一度に最大18玉までセットでき、フタ裏と本体側面のダブルヒーターで庫内を最適な温度で効率よく温めることで、ムラのない高品質な黒にんにくに仕上げるができる商品です。



## 株主メモ

事業年度	3月21日から翌年3月20日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月20日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月20日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告により、当社ホームページ( <a href="https://www.mkseiko.co.jp">https://www.mkseiko.co.jp</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
1単元の株式数	100株

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、配当金振込指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## エムケー精工株式会社

本社／長野県千曲市大字雨宮1825番地 〒387-8603  
TEL.026-272-0601(代) FAX.026-272-4912  
<https://www.mkseiko.co.jp>  
E-mail/[soumu@mkseiko.co.jp](mailto:soumu@mkseiko.co.jp)

## ●●● 株主優待制度のご案内 ●●●

### ①株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンドンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券を贈呈いたします。

### ②発行基準

宿泊優待券は、2019年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株式数	ご優待券
1,000株～1,999株	2枚
2,000株～3,999株	3枚
4,000株～9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

### ③発行日

定時株主総会后、決議通知書に同封いたします。

### ④有効期限

2020年6月30日

## HP紹介



当社のホームページでは、会社情報をはじめとするさまざまな情報をご紹介します。アドレスは以下のとおりです。  
<https://www.mkseiko.co.jp>

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

